

信用金庫法に基づく開示項目

1. 金庫の概況及び組織に関する事項

- 事業の組織 16
- 理事及び監事の氏名及び役職名 16
- 会計監査人の氏名又は名称 43
- 事務所の名称及び所在地 18

2. 金庫の主要な事業の内容 29

3. 金庫の主要な事業に関する事項

(1) 直近の事業年度における事業の概況 14

(2) 直近の5事業年度における主要な事業の状況を示す指標

- 経常収益 15
- 経常利益又は経常損失 15
- 当期純利益又は当期純損失 15
- 出資総額及び出資総口数 15
- 純資産額 15
- 総資産額 15
- 預金積金残高 15
- 貸出金残高 15
- 有価証券残高 15
- 単体自己資本比率 15
- 出資に対する配当金 15
- 職員数 15

(3) 直近の2事業年度における事業の状況を示す指標

- 主要な業務の状況を示す指標
- ア. 業務粗利益及び業務粗利益率 44
- イ. 資金運用収支、役員取引等収支及びその他業務収支 44
- ウ. 資金運用勘定並びに資金調達勘定の平均残高、利息、利回及び資金利鞘 44
- エ. 受取利息及び支払利息の増減 44
- オ. 総資産経常利益率 44
- カ. 総資産当期純利益率 44
- 預金に関する指標
- ア. 流動性預金、定期性預金、譲渡性預金その他の預金の平均残高 45
- イ. 固定金利定期預金、変動金利定期預金及びその他の区分ごとの定期預金の残高 45
- 貸出金等に関する指標
- ア. 手形貸付、証書貸付、当座貸越及び割引手形の平均残高 46
- イ. 固定金利及び変動金利の区分ごとの貸出金の残高 46
- ウ. 担保の種類別の貸出金残高及び債務保証見返額 46
- エ. 使途別の貸出金残高 46
- オ. 業種別の貸出金残高及び貸出金の総額に占める割合 47
- カ. 預貸率の期末値及び期中平均値 45
- 有価証券に関する指標
- ア. 商品有価証券の種類別の平均残高 48
- イ. 有価証券の種類別の残存期間別の残高 48
- ウ. 有価証券の種類別の平均残高 48
- エ. 預証率の期末値及び期中平均値 48

4. 金庫の事業の運営に関する事項

- リスク管理の体制 22
- 法令遵守の体制 23

- 中小企業の経営の改善及び地域の活性化のための取組の状況 4～13
- 金融ADR制度への対応 24～25

5. 金庫の直近の2事業年度における財産の状況

(1) 貸借対照表、損益計算書及び剰余金処分計算書又は損失金処理計算書 36～43

(2) 貸出金のうち次に掲げるものの額及びその合計額

- 破綻先債権に該当する貸出金 51
- 延滞債権に該当する貸出金 51
- 3カ月以上延滞債権に該当する貸出金 51
- 貸出条件緩和債権に該当する貸出金 51

(3) 自己資本の充実の状況について
金融庁長官が別に定める事項
(平成18年金融庁告示第21号) 52～67

(4) 次に掲げるものに関する取得価額又は契約価額、時価及び評価損益

- 有価証券 49～50
- 金銭の信託 50
- 第102条第1項第5号に掲げる取引 50

(5) 貸倒引当金の期末残高及び期中の増減額 47

(6) 貸出金償却の額 47

(7) 金庫が法第38条の2第3項の規定に基づき貸借対照表、損益計算書及び剰余金処分計算書又は損失金処理計算書について会計監査人の監査を受けている場合にはその旨 43

6. 報酬等に関する事項であって、金庫の業務の運営又は財産の状況に重要な影響を与えるものとして金融庁長官が別に定めるもの 67

金融再生法に基づく開示項目

金融再生法開示債権 51

任意項目

1. 経営理念 2

2. 営業地区・支店長名 17

3. 店舗外ATMコーナーのご案内、自動機設置状況 19

4. 子会社 19

5. 総代会制度 20～21

6. 顧客保護 24～28

7. 業務のご案内 29

8. 主な商品のご案内 30～31

9. 各種サービス 32

10. 主な手数料一覧 33

11. この一年の歩み 34

12. 帯広信用金庫の歩み 69

13. 任意開示計数

- 会員数推移 15
- 役員数・常勤役員数推移 15
- 業務純益 44
- 預金者別預金残高 45
- 内国為替取扱実績 48
- 公共債取戻実績・公共債引受額 51

◆帯広信用金庫の歩み

帯広信用金庫は、「地域の産業と社会発展のために地元金融機関が不可欠」との使命感に志をともした地元経済人37名によって創設されました。

大正	大正5年(1916)	産業組合法に基づく「無限責任帯広信用組合」として設立 事務所/帯広町西1条12丁目 高倉安次郎組合長就任
	大正9年(1920)	「有限責任帯広信用組合」に改組
昭和	昭和2年(1927)	本店事務所を帯広町西3条8丁目2番地に移転
	昭和14年(1939)	預金100万円を突破
	昭和18年(1943)	市街地信用組合法に基づく「帯広信用組合」に改組
	昭和25年(1950)	中小企業等協同組合法に基づく「帯広信用組合」に改組
	昭和26年(1951)	信用金庫法に基づく「帯広信用金庫」に改組
	昭和29年(1954)	預金10億円を突破
	昭和36年(1961)	本店を帯広市西3条南7丁目旧帯広警察署跡に改築移転
	昭和41年(1966)	会員10,000人に達する
	昭和42年(1967)	預金100億円を突破
	昭和45年(1970)	日本銀行との当座預金取引を開始
平成	昭和46年(1971)	日本銀行蔵入代理店(本店)指定業務開始 釧路市・白糠町・音別町(現釧路市)に地区拡張
	昭和49年(1974)	預金500億円を達成
	昭和52年(1977)	預金1,000億円を突破
	昭和60年(1985)	預金2,000億円を達成 会員20,000人に達する
	昭和63年(1988)	おびしんビジネスサービス(株)設立
	平成2年(1990)	全国キャッシュサービス(MICS)加入 預金3,000億円を達成 日本銀行との手形割引及び手形貸付取引開始 広報誌4種、第9回信用金庫PRコンクール「全信連会長賞」を受賞
	平成5年(1993)	会員30,000人に達する 預金4,000億円を達成
	平成6年(1994)	預金金利が完全自由化
	平成8年(1996)	創業80周年記念事業実施 「帯広信用金庫80年史」発行 第2ビル新築落成
	平成10年(1998)	帯広市指定金融機関に指定 預金5,000億円を達成
平成	平成11年(1999)	第2回信用金庫社会貢献賞「奨励賞」受賞
	平成12年(2000)	「創業者支援制度」創設・取扱い開始 帯広畜産大学との共同研究開始
	平成13年(2001)	おびしん地域経営塾開講
	平成17年(2005)	「おびしんふれあい相談室」開設
	平成18年(2006)	創業90周年記念事業実施
	平成20年(2008)	地域力連携拠点事業「中小企業庁長官賞」を受賞
	平成21年(2009)	「地域経済振興部」開設 帯広駅周辺4店舗を統合し中央支店オープン 預金6,000億円を達成
	平成25年(2013)	第16回信用金庫社会貢献賞 「地域活性化しんきん運動・優秀賞」受賞
	平成26年(2014)	「経営コンサルティング室」開設
	平成28年(2016)	創業100周年 第19回信用金庫社会貢献賞「Face to Face賞」受賞 預金7,000億円を達成 預貸和1兆円を達成
平成29年(2017)	「結婚相談所(おびしんキューピット)」開設	
平成30年(2018)	「おびしんローンプラザ」開設	
平成31年(2019)	東支店を建替えし、電信通支店を統合	



帯広信用組合設立準備室となった高倉宅(商店の裏手) 大正5年



大正末期の店舗周辺7丁目から西を望む



平成20年地域力連携拠点事業「中小企業庁長官賞」受賞



昭和2年～昭和36年までの店舗



平成11年、25年、28年信用金庫社会貢献賞・各賞受賞



平成21年帯広駅周辺4店舗を統合し中央支店オープン